

平成22年12月17日

各 位

株式会社 三井住友銀行

株式会社ノーリツに「SMB C環境配慮評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取：奥 正之）は、株式会社ノーリツ（代表取締役社長：國井 総一郎）に対し、「SMB C環境配慮評価融資」を実施しました。

三井住友銀行では、環境問題を重要な経営課題のひとつと認識し、地球環境保全と企業活動との調和に取り組んでおります。特に、地球環境の維持向上につながる商品の開発やソリューション提供は、金融機関として本業を通じた社会的責任を最も効果的に果たせる業務と考え、力を入れて取り組んでおります。

「SMB C環境配慮評価融資」は、三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：木本 泰行）の作成した独自の評価基準に基づき企業の環境配慮状況を評価し、評価結果に応じたご融資条件の設定を行うとともに、環境経営における今後の改善余地を、簡易診断のかたちでご提供する融資商品です。

今回対象となった株式会社ノーリツは、環境省の創設したエコ・ファースト制度※においてガス石油機器業界で初めて「エコ・ファースト企業」として認定され、持続可能な社会の形成に積極的に貢献されております。今回の環境配慮状況の評価結果についても、「環境負荷把握の状況」「環境マネジメントシステム」の面において非常に高い水準であると判断され、企業経営において大変優れた環境配慮を実施されているとの高い評価となりました。

特に、①「エコ・ファーストの約束」で宣言された目標について 2009 年度も着実に成果を上げてこられるなど、先進的な環境への取組みを継続されており、CO2 削減、廃棄物削減などの到達度を徐々に高められている点、②製品使用時における化石燃料の省エネルギーに加え、太陽熱・太陽光という新エネルギーの活用を推進されている点、③国内事業所のみならず、海外事業所での ISO14001 認証取得も拡充されており、パフォーマンスデータの集計対象にも含まれている点などが評価されました。

三井住友銀行では、「SMB C環境配慮評価融資」により、環境配慮を進める企業の取り組みを客観的に評価・診断することで、企業の環境配慮活動を支援して参ります。

※エコ・ファースト制度…業界のトップランナー企業の環境保全に関する行動を更に促進していくため、企業が環境大臣に対し、京都議定書への目標達成に向けた地球温暖化対策など、自らの環境保全に関する取組を約束する制度



ノーリツVFシリーズ集熱器と
熱源一体型貯湯タンク



ノーリツGT-C2432シリーズ



ノーリツGTH-C2447シリーズ

以 上